

六甲山系グリーンベルト整備事業



「六甲山系グリーンベルト整備事業」の推進

兵庫県南部地震によって、山地の崩壊が山体の尾根～山腹部分に集中して発生し、しかも樹木を伴ったまま崩れてしまいました。このように地面を覆うものがなくなり、地震によって揺さぶられた山肌に雨が直接影響すれば、その部分の崩壊が進むばかりでなく、土砂は谷に流れ出し、結果として土石流を引き起こすこととなります。「六甲山系グリーンベルト構想」は、表六甲の市街地に隣接する山腹斜面一帯を緑地化し、土砂災害発生の抑制を図るとともに、山体上部の崩壊～土砂流出に対する緩衝帯としての役割を同時に果たそうとする構想で、都市環境、景観や生物多様性の保全とともに、無秩序な市街化の防止にも貢献します。



■六甲山系グリーンベルト整備事業の経緯

- | | |
|---------|--|
| 平成7年 9月 | 「六甲山系グリーンベルトの整備に関する懇談会」設立 |
| 平成7年10月 | 「六甲山系グリーンベルト整備基本計画策定委員会」設立 |
| 平成7年12月 | 上記懇談会によって「六甲山系グリーンベルト構想に関する提言」がとりまとめられる。 |
| 平成8年 3月 | 上記委員会によって「六甲山系グリーンベルト整備基本方針」が策定される。 |
| 平成9年度～ | 六甲山系グリーンベルト整備事業着手、住民の皆様の協力を得ながら六甲山地の緑化を現在も実施中。 |



ご存知でした？

六甲山で昔から行われてきた緑化事業

今は緑の植生で覆われている六甲山系も、明治時代は開発や伐採などによりはげ山がたくさんありましたが、山腹を階段状に整備して植栽を行う山腹工によって緑を回復してきました。

六甲山系グリーンベルト整備事業

平成7年1月17日の兵庫県南部地震で緩んだ六甲山系の地盤は、斜面の崩壊を起こしやすくなっています。そのため、市街地に隣接する斜面を一連の防災樹林帯として保全・整備する事業「六甲山系グリーンベルト整備事業」がスタートしています。

